

月潟コミュニティ協議会会報

'23.1.31
第45号



月コミ通信

■発行責任者
月潟コミュニティ協議会
会長 金子 周永
新潟市南区月潟 535 番地
TEL. 372-6905

令和5年元旦マラソン



3年ぶりとなる『第41回月潟地区元旦マラソン大会』を行いました。

当日は、雷や霰の悪天気でしたが、寒さを吹き飛ばす勢いで総勢60名が2km・4kmコースを精一杯駆け抜けました。

流した汗は、雲のすき間からのぞく日差しに照らされ、キラキラと輝いていました。

(今回も、入澤製麺(株)様から御協賛いただきました。大変ありがとうございました。)



新年の
ごあいさつ



月潟コミュニティ協議会
会長 金子 周永

新年明けましておめでとうございます。令和5年の年頭にあたり皆様のご健勝をお慶び申し上げます。

ここ数年、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、自粛を求められる日々が続いていましたが、ワクチンの普及や生活様式に注意することなどにより徐々に今までの生活を取り戻しつつあります。いまだ終息したわけではありませんが、昨年から月潟祭や各種行事が実施され、地域の賑わいもどりは始めています。

コミュニティ協議会においても各種事業を実施しながら地域の活性化に取り組んでまいりますので、本年も引き続き皆様方のご支援ご協力をお願いします。

コミュニティ懇談会 区長と語る会

◆開催日時：令和4年11月12日（土） 15時～17時
◆開催場所：月潟地区公民館 2F大会議室

質疑概要

1への速度抑制を促すような路面標示を考えているところ
です。

国道460号の巻一白根
間の歩道整備について

家庭ごみの
分別・収集について

め、それに沿った分別になっ
ていますので、これまでと同
様にご協力をいただきたいと
思います。

Q 枝豆やトマトなどのつる
は枝葉・草ではなく燃え
るごみになっているが、扱
いと同じにすれば燃えるごみの
減量につながるのではないか。

A 野菜や果物の茎やつるは
腐敗し悪臭を発生し処理
工程に適さないため、枝葉・
草とは別扱いとなっています。

Q ごみは有料・資源は無料
をうたっているが、最近
はレジ袋も有料となっている
ので、資源は無料ではない。

A ごみ指定袋の手数料収入
は、指定袋作製経費と地
域活動への支援経費などに支
出しており、その支援分が有
料とご理解いただきたいと思
います。

Q ごみ処理施設に直接搬入
した場合は無料か有料か。

A 直接搬入は有料となります。

角兵衛獅子の里遊歩道の 点検・補修について

多く、歩行者の妨げになっ
ている。大ケガをする人が出る
前に安心安全な遊歩道になる
よう補修してほしい。

Q 遊歩道が整備され、時間
の経過とともに植栽樹の
根も成長し舗装路面に凹凸が

A 樹木の根の切り取りや枝
の剪定、舗装などの補修
工事を来年度から行います。

Q 昨年もテーマにあげて、
現時点で整備計画はない
が、状況を見極めながら考え
ていくとの回答だった。この
区間は道幅が狭いうえに車の
通りが激しいため、お年寄り
や子ども達の安全を考えると歩
道の設置を早急に検討してほ
しい。

Q ペットボトルなどの資源
物は細かく分別して出さ
ないと回収してもらえないた
め、家の中には資源物の袋がた
くさん置いてある状態になっ
ている。資源物の分別区分を
減らし、ごみ指定袋の手数料
の一部を利用して資源物の分
別作業を委託すればよいので
はないか。

A ご指摘の区間は民家があ
るため道幅が狭くなって
いるのは把握していますが、
財政が厳しい中で用地買収を
して道路幅を拡幅するのは現
実に難しいため、ドライバ

A 平成20年からの現行のご
み減量制度は、10種13分
別によるリサイクルの推進に
取り組んでいます。資源物は
それぞれの処理工程が違うた



▲五十嵐南区長から南区の主要政策についても説明

災害時の対応について

Q 最近は老夫婦だけ、あるいは一人住まいの家庭が増えてきており、災害時の対応が心配される。避難行動要支援者名簿が自治会長あてに届くが、200件以上あるうえ会長だけが情報を抱えていてよいものが教えてほしい。

A 避難行動要支援制度は、月潟地区など区内235自治会からご賛同いただいた



▲様々な意見や質問ができました

います。これは、一人暮らしなどで自力での情報収集や避難が困難な方に対して、支援を行っていただくという支え合いの制度になります。毎年2回要支援者名簿を更新し、自治会長へお送りしていますので、原本は自治会長が保管し、写しは実際に支援を行う方にお渡しください。また、この制度について、自治会単

位で勉強会などを行っていたとき、地域の皆さん全員が避難できる体制づくりに取り組んでいただきたいと思います。

Q 当自治会は災害時の備蓄として乾パンと水しかないが、どの程度準備しておいたらよいのか教えてほしい。

A 近年の被災地の状況から、3日目くらいには食糧やその他物資が届き始めているようなので、3日分くらいは各家庭での備蓄に取り組んでいただきたいと思います。自治会としては、今後立ち上げる避難所運営委員会のなかで備蓄スペースなどを考慮しながら、検討していただきたいと思います。

空き家問題について

Q 人口減少と相まって空き家が増えており、当自治会内にも相続放棄された土地と家屋が荒れ放題になっているところがある。相続放棄された土地と家屋は国に帰属されると思うが、管理についてはどこに話をすればよいのか。

A 相続財産管理人制度というものがあります。これは、相続放棄などで相続人が明らかでないときには、家庭裁判所は申し立てにより相続財産の管理人を選任し、管理人が財産の清算を行い、残った財産を国に帰属させる制度になります。よって、相続放棄されたら直ぐに国が受け取ってくれるわけではありません。空き家・空き地でお困りの場合は、弁護士や家屋調査士などが対応する無料相談会を案内していますので、まずは区民生活課にご相談いただきたいと思います。

Q 相続放棄された土地の登記簿は前の持ち主名義になっているのか。

A 当課においても相談があると登記簿謄本を取り寄せますが、前の持ち主名義のままになっているのが多いです。

バス待合所について

Q 月潟図書館前にバス待合所があつたが、誰が撤去したのか更地になつていた。バスを利用する側からすると新たなものを建ててほしい。

A バス待合所は雨漏りがひどかったため、新潟交通が撤去したと聞いています。実態として月潟小学校の児童27人が下校時に利用しているので、子ども達の安全を考慮して検討させていただきます。

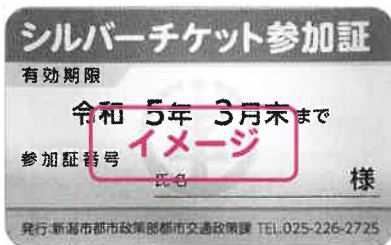
Q バス待合所について地域の方が投書したと聞いたが。

A 今回、子ども達の状況についてご連絡いただきました。

バスのシルバーチケットについて

Q 65歳以上にバス運賃が半額になるシルバーチケットを区役所で発行しているが、利用者の利便性を考えて出張所で発行できるようにしてほしい。

A ご意見を参考に検討させていただきます。



シルバーチケット
令和5年1月から
出張所でも発行されます。

支え合いのしくみづくり

高齢者を支える取り組み



9月28日(水)月潟圏域支え合いのしくみづくり会議を開催しました。

事前に構成員の方々から地域づくりを目標としたスローガンや組織・団体として考えられる取り組みなどについて回答してもらい、会議の中で意見交換時に活用しました。

●スローガンについて

【月潟のチカラ／おたがいさまでつながろう】
組織・団体が現状把握をし、互いに出るべきことを行い、つながっていくこと

●考えられる取り組みなど

- ・要支援者の方々の関わりを民生委員・児童委員だけが把握しているだけだが、自治会はどう結びついたら良いのか
- ・各自治会からの協力があるとしくみづくり活動がしやすいと思う
- ・給食サービス、住民バス、移動スーパーなど今ある資源の支援強化で継続していく体制づくり
- ・支え合いのしくみづくり体制図の周知（組織・団体への周知、理解）
- ・元気な高齢者のボランティア活動協力体制
- ・組織・団体の強みや弱み、やれること、やれないことを整理してみる



アンケートや意見交換時にいただいたご意見、活動をされている皆さんのところで聞いたご意見を踏まえながら、今後の活動に活かしていきたいと思えます。

月形町物産販売

まんまるトマトジュースとジンギスカンをお届けしました。



月潟まつり・大道芸フェスティバルで販売していた月形町の物産販売ですが、月潟まつり等の中止で2年間実施できませんでした。今年はコロナ禍の現状を考慮し、混雑を避けるため事前に申し込みをいただき、後日引き渡す形式で3年振りに7月16日・10月29日の2回、販売を行いました。

皆様には、申し込みと商品の引き取りの2回足を運んでいただくことになりましたが、たくさんの方の申し込みをいただきました。ありがとうございました。

なお、トマトジュースについては、「お休み処獅子の里」でも販売していますのでご利用ください。

敬老会



9月17日(土)、月潟農村環境改善センターにおいて月潟地区敬老会を開催しました。コロナ禍で中止されていましたが、感染対策を実施のうえ3年ぶりの開催となりました。以前よりは、若干少なめの参加申し込みでしたが、100名ほどの方が元気に参加されました。



南区長、来賓の皆様のお祝いの言葉のあと、アトラクションで楽しんでいただきました。アトラクションは、月潟民謡研究会の民謡と、三流亭楽々さんの防犯落語をお願いしました。

会場では飲食できないため、参加者の皆様にはお弁当をお持ち帰りいただきました。皆さん、健康には気をつけて、お元気で過ごしてください。そして、特殊詐欺にも十分、気をつけてください。

増子ゆかりの出張健康トークショー開催



7回目「気にしていますか？尿酸値」
8回目「続特定検診のすすめ」

しばらくお休みしていた増子ゆかりさんの健康トークショーを、月潟内科クリニックの廣野暁先生を講師にお迎えし、月潟健康センターを会場に2回開催しました。

7回目は10月1日(土)、ビール好きには気になる尿酸値をテーマにお話をいただきました。食事や運動など生活習慣

の見直しが必要なことを参加者の皆さんは、あらためて感じられたようです。

8回目は12月3日(土)に特定検診をテーマに開催。南区は飲酒や喫煙者の比率が高いのに特定検診の受診率が低いというところで、南区健康福祉課の担当者も参加され、検診の必要性についてお話を伺いました。検診はコロナ禍でも安心して受けられるよう対策がとられていますので、健康寿命を延ばすためにも、皆さん、検診を受けましょう。

防災研修会

12月11日(日)、月潟農村環境改善センターで各自治会(防災会)やコミュニティ協議会総務部会のメンバーなど約20名が参加して防災研修会を開催しました。地域合同の防災訓練が新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催が難しく、このため、前年度同様に少人数での開催となりました。

この研修会は、前年に引き続き南区社会福祉協議会の「防災出前講座」を利用しま

した。講師にNPO法人「新潟防災ボランティアネットワーク」理事長・李仁鉄様を迎え、災害時は地域の連携が必須であることをお話いただきました。

今年起きた、村上市や静岡市などの水害の状況も交え、災害時に発令される警戒レベルについても説明いただき、情報をきちんとキャッチし危

りました。また、今後、避難所の運営にも地域住民が主体的にかかわることが必要になってくると想定されます。その際も地域の絆が役に立つと考えるので、日頃からできることで地域での繋がりを大切にしていきたいものです。



なくなる前に避難することや、ハザードマップがすぐに見れるようにしておくことが大事であることなど大変参考にな



**3年ぶりに開催
大道芸フェスティバル**

令和4年9月25日（日）、大道芸フェスティバルが月潟商店街を会場に開催されました。お天気にも恵まれ、多くの観客で賑わいました。



“ありがとうございます”子どもたちの声で商店街もにぎわいます！

月潟小学校五年生のお米販売

令和4年11月22日(火)月潟小学校の五年生は、月潟商店街ほしのや洋品店前にて、収穫したお米を販売しました。

昨年は、新型コロナウイルスの影響で、田植えが行えませんでした。今年、田植え・稲刈りを行うことができました。

事前にチラシを配り、宣伝をし、当日は多くの方々が入り下り、百袋用意したお米もまたたく間に完売しました。

子どもたちが貴重な体験ができるのも、毎年多くの方々からご協力いただいているおかげです。ありがとうございます。



世代間交流

お正月飾り作り



令和4年12月10日(出伝) 統文化継承事業を開催しました。今回も、月潟親善大使の増子ゆかりさんをお迎えし、樹脂粘土で干支飾りを作りました。

乙川先生の丁寧なご指導の下、いろいろな表情の卯が出来上がり、時間があっという間に過ぎました。

安全で穏やかな年でありますように！